

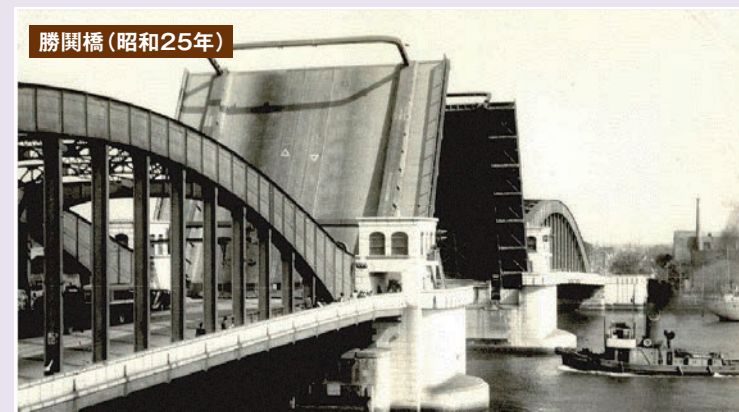
東京のまちづくり

東京都建設局

特集1 連続立体交差事業推進中
～踏切がなくなる、渋滞がなくなる、まちが変わる～

特集2 事業者(国土交通省及び高速道路会社)からのお知らせ
東京外かく環状道路(関越～東名)について

特別特集 TOKYO土木アーカイブズ



No.183(1・2月号)は、令和4年11月30日時点の情報に基づき作成しています。
※新型コロナウイルス感染症の状況により、本誌掲載のイベントの予定は変更となることがあります。

連続立体交差事業 推進中

都内には、約1050箇所の踏切が存在
そのうち約290箇所が「開かずの踏切」



解消!

渋滞解消で人とモノの流れがスムーズに

地域分断解消により賑わいのあるまちに

ストック効果



踏切による交通渋滞が解消

高架下に保育所や商業施設などを整備し、便利なまちに



事業を契機に再開発等が進展



連続立体交差事業クイズのこたえ A1:大田区内 国道15号と環状8号線が交差する南蒲田交差点(京急蒲田駅付近)【京浜急行本線・空港線(京急蒲田駅付近)連続立体交差事業(平成28年度事業完了)により高架化しました。表紙上段の写真も同様です。】 A2:練馬区内 富士街道(石神井公園駅西側)【西武池袋線(練馬高野台駅～大泉学園駅間)連続立体交差事業(平成28年度事業完了)により高架化しました。表紙中段の写真も同様です。】

～踏切がなくなる、渋滞がなくなる、まちが変わる～

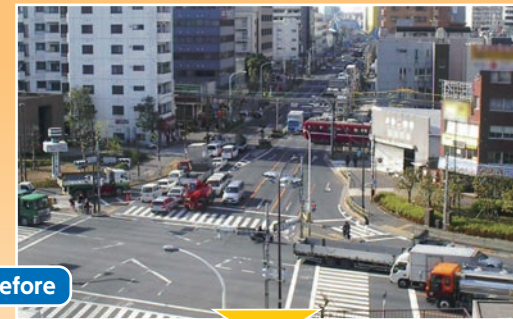
連続立体交差事業とは???

道路整備の一環として、鉄道を一定区間高架化または地下化し、多数の踏切の除却と交差する道路との立体化を一挙に実現する都市計画事業です。

連続立体交差事業クイズ

以下の写真は、とある場所における、連続立体交差事業により踏切がなくなる前後の写真です。この写真の場所はどこでしょう?

Q1



Q2



こたえは左ページ最下段にあります

問い合わせ先

道路建設部 鉄道関連事業課
TEL: 03-5320-5331



東京都建設局
連続立体交差事業
ポータルサイト



葛西臨海水族園におけるユウゼンの保全活動について

葛西臨海水族園 飼育展示係 森田夕貴

葛西臨海水族園では、伊豆諸島や小笠原諸島を主な生息地とするユウゼンの飼育展示を開園当初から行っています。ユウゼンは日本の固有種で、全身が黒く、尾ビレも含めた体の一部が鮮やかな黄色で縁取られているのが特徴のチョウチョウウオのなかまです。小笠原を代表する生き物を多く展示している「小笠原の海4」水槽内で、凛とした印象を放ち、みなさんの目に留まるのではないのでしょうか。

ユウゼンは、その特徴的な見た目から観賞魚として人気があり、乱獲による生息数の減少が心配されています。しかし、詳しい生態がわかっていないため、保全や繁殖に取り組むための情報が不足しています。そのため、水族園では、2011年から小笠原諸島で潜水観察による生態調査を始めました。調査により、長期間ペアを維持し、同じ場所でくらすことや、日没直前にペアで産卵することがわかってきました。これらの結果を踏まえて、飼育下繁殖に取り組み、照明の点灯時間や、水温を調整することで、2021年に園内で初めて卵のふ化を確認できました。今後も生息地での調査と飼育下繁殖の取組を継続し、ユウゼンの保全活動につなげていきます。

「東京の海」エリアの一番大きな水槽内で寄り添って泳ぐユウゼンを見に来ていただけたら嬉しいです。

動物園の“かお” 井の頭自然文化園 アムールヤマネコ



2022年5月、井の頭自然文化園では16年ぶりにアムールヤマネコが自然繁殖しました。2022年10月25日から公開しています。子どもたちにぜひ会いに来てください。

写真:アムールヤマネコの子供たち